

以テ被命ノ減給ハ容認スルニ蒙リ五箇ノ手崗ヲ減セラレ合則
 更ニ一割ノ給料減額ハ生活ニ大ナル脅威アルノミナラス社員
 ハ常ニ損失継続ノ場合ハ緊船スレバ切斷シテ居ルヨリ察ス
 ルニ或ハ近ク緊船解雇ニ至ルニ計リ難ク以テ此ノ際解
 雇手崗ノ制定ヲ要求シタルモノニシテ第一拒絶ノ場合ハ組合
 ノ底核下ニ徹底的一抗争スル意向ヲ有シ居ルニ目下罷怠業等
 ニ出ラス平常通り就業中

（一）事業主側ハ従業員側ノ要求セル減給ニ合意ハ大体容認ノ意向
 ナルニ解雇手崗ノ制定ニ一応シテハ他会社ニ波及スル問題ナ
 ルヲ以テ慎重考慮ノ要アリトシ社員席京ノ上協議ヲ重シタル
 標榜ナルニ態度強硬ナリ

（二）及中（直）係候也

4. 5. 25
 1574

労働第二八三二號
 昭和五年八月二十二日

警視總監 丸山 鶴吉

内務大臣安達謙藏殿
 社會局長官吉田茂殿

東京給水株式會社ノ労働爭議ニ關スル件（第二報）

要旨ニ其後勞資共持異ノ行動ナク又會社側ハ十九日全従業員ヲ
 招致シ會社ノ現状ヲ説明シ敬願書ノ撤回方ヲ慰撫シタルが態度強
 硬ニテ肯セザル爲メ更ニ従業員ニ對シ聲明約通達ヲ發セリ

標榜労働爭議ノ其ノ後ノ動靜左記ノ通り

一事業主側

記